



Miyakonojo Higashi High School Newsletter

2014年8月発行



代表であいさつをした1年3組の八木佐千代さん（左）と河野宮崎県知事 [8月22日]

宮崎県知事を表敬訪問
— 都城市長・三股町長・
三股町教育長も —

フィリピン国カヴ
イテ市のデ・ラ・サー
ル大学において、5月
12日から80日間
の語学研修を終えた
1年生10名が7月
31日に無事帰国し
ました。

また、8月15日か
ら11月8日までの
日程で本校と提携し
ているフィリピン国
セント・ラ・サール大
学の教育実習生（第二
組目のイングリッシ
ュ・ティーチャー）1
0名が来日しました。
語学研修生と教育
実習生代表の2名は、
ブライアン副理事長、
原田校長、中島教頭と
ともに、8月18日に
は、木佐貫三股町長、
宮内三股町教育長、池
田都城市長を、8月

22日には、河野宮崎
県知事をそれぞれ表
敬訪問し、体験したこ
とや今後の目標など
について報告しまし
た。



池田都城市長と記念撮影

連携大学 『京都ノートルダム女子大学』

芹田学長 地域貢献というテーマを大切に

片山副学長 全国でも前例のない取り組みに期待



7月30日に高大連携に関する包括協定を締結した、京都ノートルダム女子大学の芹田学長と片山副学長が、締結式終了後に行われた記者会見でコメントした内容です。

協定高校には、優先入学という制度があり、入学試験は面接試験を実施しています。最大7名の学生を受け入れることができます。そして、選ばれる大学を目指すため、地域貢献というテーマを大切にしています。協定高校の地域社会に、大学の持つ知的財産等を活かしていくことも連携の大きな目的のひとつであります。



芹田健太郎 学長



片山裕 副学長

グローバル化時代のミッションとして、英語教育に重点を置き、フィリピンへの語学研修制度やフィリピンの提携大学から English Teacher 11名を学校に招き、教育プログラムを実践していることは、珍しくユニークな試みで、全国のどこでもやっていないことであります。中・長期的に、今後どのような効果が表れるのか個人として非常に興味があります。我々の大学や附属の中学校・高校でも同様の取り組みをしたい気持ちはありますが、実現するにはなかなか難しいのが現状です。都城東高校のこのインパクトある試みから、大学としても最大限のことを学びたいと思います。そしてグローバル教育の先進的な取り組みが、将来、日本の高校の教育を変える可能性があるのではと考えています。

「世界へつながる都城東インターナショナルエアポート」 OPEN CAMPUS を開催しました！



中学3年生を対象にしたオープンキャンパスを、8月20日（水）・21日（木）に開催しました。台風11号の影響のため、当初の予定を変更しての開催でしたが2日間で多くの中学生が都城東高校を訪れてくれました。

今回のオープンキャンパスは「世界へつながる都城東インターナショナルエアポート」をコンセプトに、受付場所となる体育館を空港に見立て、本校が推進しているグローバル教育についての説明をラウンジ形式で行いました。



中学生たちと同じテーブルで本校のコンセプトを説明する清水理事長

フィリピンから来ている11名の先生（English Teacher）と、5月12日から7月31日までフィリピンに英語の語学研修に参加した本校の1年生10名が説明に加わりました。



English Teacher と英語でコミュニケーション

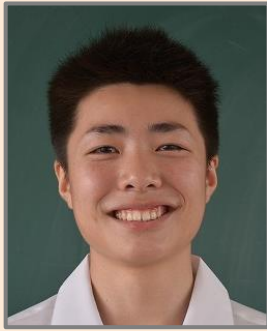
その後、各学科の体験へ移動した中学生は、将来の夢と希望を胸に描くように真剣に説明などを聞いていました。英語でのコミュニケーションや語学研修の体験などを聞いているうちに、緊張していた表情も少しずつ和らぎ、時折笑顔がこぼれていました。



都城東から世界へ！ ～日本の未来をささえ、グローバルな舞台で活躍できる『人材』を育成します。～

本校が推進している『グローバル教育』を、海外での語学研修を経験した生徒や活躍中の English Teacher の感想や気持ちを通して伝えていくページです。

『語学研修生クローズアップ！』 自動車工業科 1年 脇田 藍くん



このフィリピンで生活した3カ月間は、今まで経験したことのない毎日でした。

初めは、期待よりも不安の方が大きく、無事に研修を終えることができるか心配でした。しかし、一緒にいた9人のメンバーと協力し合うことで無事に終了することができました。また、フィリピンの人々はとても優しく、親切な人ばかりで、学生同士の関係だけではなく、現地のスタッフや先生方、ハウスキーパーの方々もフレンドリーに接してくれたおかげで、徐々に溶け込むことができ、気が付いた時にはフィリピンでの生活を普通に楽しく過ごすことができるようになっていました。

僕は、海外に行くことが初めてであり、異国文化を肌で感じる事ができたおかげで、日本に住んでいる時に比べ様々な違いに気づくことができました。その中でも、一番驚いたことは、フィリピンの方々のフレンドリーさです。日本人は初めて会う人など、恥ずかしがりますが、フィリピン人は恥ずかしがることなくとてもフレンドリーに話しかけてくれ、僕たちの緊張をほぐしてくれました。このことは、日本人も少し学ぶべきであると思いました。しかし、反対の事もあります。フィリピン人は道端などに堂々とゴミを捨てます。また、モノを大切に扱わないように感じました。紹介したのは一例ですが、異文化を学ぶことは、今まで当たり前だと思っていたことが違うと気づいた時に、再度日本の良さや悪さを認識し、学んだことを広めようと思った時に、また別の問題に気付くように、視野や考え方が少しずつ広く深くなることではないかと思います。

このフィリピンで過ごした3カ月間は、僕たちにとって何物にも代えがたい貴重な時間になりました。将来を選択するうえでこの経験を一つの判断基準として、大切にしたいと思います。最後に、世の中に役に立てるような大人になりたいと思います。

Blazing the Trail

Given this once in a lifetime opportunity as one of the stakeholders of Miyakonjo Higashi High School will always be an eternal gift we will always keep and treasure. Never had we imagined that as early as now, we will be travelling outside the Philippines to teach minds, touch hearts and transform lives. Never ever had we imagined that our dreams of becoming a global teacher will be granted. We know that the world is a big classroom and given this institution as our experiential learning space as of the moment, we do promise to do our best and never settle in mediocrity. For our mission and the school's mission is the same- to produce globally competent and efficient students who are the future of our world.

As what the famous poet Robert Frost had written, "Two roads diverged in a wood, and I- I took the one less traveled by," to create changes in a clearer perspective and to inculcate values for the students' holistic growth. And so we conclude that yes- this has made all the difference.



8月15日にフィリピンより来日した English Teacher 10名